

半町青年訓練所の出席成績は在籍生百九十名に對し現在辛うじて三十名前後の出席を見てゐるのみにて他町村に比し著しき不成績であるが吉田主事及此現状を憂慮してゐる青年團幹部等が此程全町に亘り各保護者を訪問して在籍者を極力出席せしめ得たりる様勧誘をなしたが其効遲延として實現せず未だに之が實績を擧げ得らるゝに及んでゐないので吉田主事は次の如く語る「當所の出席歩合の少い事は他町村に類例なき不成績である然し量に於て劣つても質に於て優つてゐる事は確信する、開所式を舉行した當時の出席者は五十名前後で訓練日數を重ねた今日却て減少を示して來た事は誠に遺憾堪れません、自分も訓練所豫算として年額八百圓の巨額を支給されながら其實績を擧げる事の出來ないと言ふ事は自己の責任觀からも國家的立場からも大なる損失であると思考し之れが優良なる成績を實現せしめんとする事に於ては最大の努力を盡して既に青年團幹部の應援により戸別訪問迄試み其が未だに直に理解されない結

刊 支那 新報 二十名しか出席しない

名士が出席しない 年内年訓練所

車輪送から見た 春蠶の減收

全額では七十萬圓に達する

日本人を支配する

過つた優越

有馬伯爵の講演

四

四倉銀行成績

配當は六分八厘

私は大正十年以來、部落解放運動を續けて來た。所謂新平民として彼等を遠ざけてゐる現代社會の人々をして、彼等を平等な立場に置けと叫んで來た。彼等を蔑視するのはそもそも如何なる理由に基いてゐるか。日本人には悪い癖がある、何處に行つても人の悪口を言ふ。集まれば人の善行を言はないで巧みに惡口話に花を咲かせる人を稱して話上

優越觀

つねに安心したね」と大喜び。これは何處かに自分より背の低い人が居ないかと探してゐた願が叶つたのである人の悪口を言つて自分が偉くなれるのではないか、かうして過つた觀念が日本を支配してゐる。梶原と佐々木の宇治川先陣の事をよく思ひ出しが小學校の先生達は往々にして佐々木高綱を勇敢なものと當讚する、然し私は決してさうは考へない。佐々木が如何しても梶原に勝てぬと觀念した時、「馬の腹帶がゆるんだ」と言つて先陣を占めた。現代の日

る思想はこの過つた優越觀に基き人の惡口を言つて偉がらうとするためである。この点は西洋人をまねたいと思ふ。西洋人は平均して智に富んでゐるためか、集つた時など人の善行を言つてすいぶん話に花を咲かせてゐる。日本人にはこれが出来ない。人とあへば、た住居はどこですか、た生れはとかを話の切つかけにする。これは確かに返事を貰へるため愛嬌に言ふのだが、その以外の話は人の惡口ばかりとは情ない事だ。

川前駒の成績

平署に開き海軍召集事務について打合せをなした。

消防栓使用打合 平成
防組では十日午後三時から各消防組長を召集し町内の消防使用方法について協議する。

廿四日から

臨時列車運轉

濱通り各地の海水浴期には例年浴客の便を計り東京及び仙

今日ははうれしかつた」と言つ

本の社會も之と同じで人々は
一日は追て發表すること。
一手工講習會 石城郡教部會主催手工講習會は八月下旬
五日間平第一小學校に開催す
害で講師は東京女子高等師範
校教諭山形寛氏 會費 圓一
すこと。

付金四十九萬七千八百四圓、諸
有價證券三萬圓、諸積立金三萬
一千圓、預金五十八萬圓で純益
金は前期繰越金六千圓を加へ二
萬七千二百三十二圓で之が処分
案は左の如くである。

新潟縣南蒲原郡大崎村大字下保
内生れ當時双葉郡久ノ濱町字北
可十五番地窃盜 科五犯高橋三
治(五四)は昨年十
月十七日内
郡村字高坂にある磐城炭礦倉庫
中からケーブル線四十尺價格
四十圓を窃取した外石城郡内各
所で銅線専門に窃取し之を古物
商に賣却した事から足がつき平

全部捕はる

月二十九日まで平、久ノ濱間に午前、午後二往復の臨時列車を運轉する筈であるが、時間は追て發表の筈、尙ほ雨天の際は當日だけ運轉を中止する。

